



# 消防大学校だより



## ■ 上級幹部科第85期における教育訓練について

消防大学校は、国及び都道府県の消防の事務に従事する職員並びに市町村の消防職員及び消防団員に対し、幹部として必要な教育訓練を行うとともに、消防学校並びに消防職員及び消防団員の訓練機関の行う教育訓練の内容及び方法に関する技術的援助を行うことを目的として設置されたものです。

現在、実施されている総合教育、専科教育及び実務講習の中で「上級幹部科」は、消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させるための教育訓練を実施しています。また、柔軟な発想やアイデアの創出・政策立案、知事・市町村長部局との折衝、議会对応、人事管理、予算要求等の行政運営能力を向上させ、消防全体における組織力の底上げに資する教育訓練も実施しています。

なお、本年度上級幹部科では、消防本部等での消防長等幹部として活躍するだけでなく、将来、各市町村での防災・危機管理を担う人材として活躍すべく、元知事による防災・危機管理の講義や消防業務以外の講師を招き、新しい視点でのトップマネジメントについての講義を取り入れました。

また、今日の消防行政を取り巻く環境を踏まえ、「消防管理概論（幹部の心構え）」と題して、さいたま市消防局林一浩局長の講義や「トップの役割」と題して、全国消防長会清水洋文会長（東京消防庁消防総監）の講義を実施するなど、上級幹部職員の組織マネジメント力のより一層の向上に資するための講義を実施しました。

### <講義>

「トップとしての防災・危機管理政策」と題して、消防大学校客員教授石井隆一講師（元富山県知事、元消防庁長官）から、「防災・危機管理と私の関わり」から東日本大震災における緊急消防援助隊の活動と課題など「真の地方創生のためにも安全・防災が基盤」について、講義いただきました。

また、「トップマネジメント」と題して、プロレスラーの蝶野正洋講師から、プロレス業界での苦労話を交え、地域防災の安全安心なコミュニティの在り方などについて



林 一浩講師



清水 洋文講師



石井 隆一講師



蝶野 正洋講師



# 消防大学校だより

での講義いただきました。消防職員とは違った目線での消防の見方など、大変興味深い講義をいただきました。

さらに、「消防管理概論（幹部の心構え）」と題して、さいたま市消防局林一浩局長から、訴訟事案や不祥事の取組について、これまでの消防局の経験を踏まえ、講義いただきました。

そして、「トップの役割」と題して、全国消防長会清水洋文会長（東京消防庁消防総監）から、全国消防長会についての概要・業務内容から、火災現場や訓練中の危機管理等など東京消防庁総監としての経験を踏まえ、講義いただきました。

## <授業環境>

今回の上級幹部科の開校中は、新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあり、「まん延防止等重点措置」が发出され、総務省消防庁での長官等の幹部からの対面講義が、インターネットを活用したりリモート講義に変更となりました。長官等の幹部講師については、霞ヶ関の庁舎から講義を実施することで、学生及び講師側への感染防止にもつながったものと考えています。

消防大学校教育は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の入校受付時においては、教官による体調確認及び検温を実施するとともに、体調管理のため2週間前から毎日検温を行い、その後入校後も毎日実施しました。

講義を受ける教室については、講師と学生との距離及び学生同士の座席間隔を十分に確保し、教室内に複数台のサーキュレーター及び二酸化炭素測定器を設置し、十分な換気を行うとともに、休憩時には講師が使用したマイクや教壇を学生が主体となり消毒を行いました。



内藤消防庁長官講話(リモート)

## <寮生活>

寮生活については、原則外出・外泊は禁止していることに加え、共同して利用する食堂や浴室の利用に時間制

限を設けるなど制約の多いものとなりました。学生一丸となってこのような状況をしっかりと受け入れ、制約された生活様式の中、一人の体調不良者も出すことなく、無事に卒業を迎えることができました。



ひとりの欠席者も出ることなく無事に卒業

今回の上級幹部科は、新型コロナウイルス感染第6波が始まった時期であり、入校予定の学生が直前に辞退することもありました。入校した上級幹部科第85期46名の学生は、考え方、発言、行動等が上級幹部たるべきものであり、この上級幹部科の入校により、地元消防本部における今後の自分自身の役割を再認識するとともに、新たな課題も見出せたのではないのでしょうか。

上級幹部科は、現在の消防が直面している課題に向き合い、課題解決に向けたヒントを導かしてくれる魅力と個性ある講師陣により、実益ある上級幹部科となっています。コロナ禍での入校は、不安があるかと思いますが、こういう時だからこそ入校していただき、上級幹部としての悩みや課題を、入校する学生とともに解決していただければと思います。今後の各本部等からの多くの受講申請をお待ちしています。

## 問い合わせ先

消防大学校教務部  
TEL: 0422-46-1712